

令和 3 年度 社会福祉法人郡山市社会福祉協議会 事業報告

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

『みんなで支え合い 一人ひとりが輝けるまち こおりやま』

の実現をめざして(『第 4 次地域福祉活動計画』基本理念)

本会では、平成 30 年度から『みんなで支え合い 一人ひとりが輝けるまち こおりやま』を基本理念とする『第 4 次地域福祉活動計画』に基づき、各種の地域福祉推進事業に取り組みました。本計画は郡山市が策定した『第 3 期郡山市地域福祉計画』に呼応した 4 か年を期間とした民間の実践的な行動計画であり、令和 3 年度は計画の最終年度として、特に以下の事業について重点的に実施いたしました。

第一に、「生活福祉資金（特例貸付）」の実施については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い大幅な減収となった世帯に対する生活支援として、本会の職員が一丸となり貸付相談の対応にあたりました。社会経済活動に対する制限が長期化するなか、雇用状態が不安定な非正規労働者やパートタイム労働者等を中心に生活に困窮する世帯が急増し、令和 4 年 3 月末において延べ 3,118 世帯に対して生活資金の貸付を行いました。さらには、新型コロナウイルス感染症への対応策として、「新しい生活様式」を実践しながら、安心・安全に地域福祉活動が展開できるよう『地域福祉活動再開に向けたガイドライン』を改訂し、福祉委員等に配付を行いました。

第二に、生活支援体制整備事業については、「協議体の設置」及び「生活支援コーディネーターの配置」に向け、平成 29 年度から『郡山市第 1 層生活支援コーディネーター事業』の業務を、平成 30 年度からは『郡山市第 2 層生活支援コーディネーター事業』の業務を郡山市から受託し、現在、総勢 13 名で活動を進めています。この事業をとおして、地域の支え合い・助け合い活動のための社会資源の発掘や創出を図りながら地域福祉活動の充実・強化に努めるとともに、生活支援コーディネーターを中心に、郡山市内の地区社協・支部社協の 38 地区を区域とした『第 2 層協議体』の設置に取り組み、令和 3 年度末までに 33 地区の設置が完了しました。

第三に、『住民参加型在宅福祉サービス事業』“たすけあい活動”については、日常生活におけるちょっとした困りごとを住民同士で支え合う有償ボランティア活動を推進するため、“たすけあい活動”を全市的に展開し、ゴミ出しや掃除、話し相手などで延べ 2,996 件の利用があり、助っ人登録会員 95 名のうち 47 名が活動を行いました。

また、令和 4 年 3 月 16 日に発生した福島県沖地震において、同月 17 日に本会に災害ボランティアセンターを設置し、被災された 30 世帯に対し、延べ 104 名のボランティアが活動にあたり、倒れた家具の原状復帰や整理、部屋の片付け、地震で使用できなくなった家具等の搬出作業などの生活復旧支援を行いました。

なお、具体的な事業は、以下のとおり実施しました。

《 1 組織・財政及び活動基盤の強化》

(1) 理事会・評議員会

① 理事会

○ 令和3年4月26日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
(議決事項)

- ・評議員候補者選出団体の選定について
- ・評議員会の招集について

○ 令和3年6月9日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
(議決事項)

- ・令和2年度事業報告について
- ・令和2年度会計決算報告について
監査報告
- ・令和3年度資金収支補正予算について
- ・たすけあい一時資金原資の欠損処理について
- ・評議員選任候補者の推薦について
- ・評議員選任・解任委員会の招集について
- ・次期役員（理事・監事）候補者の承認について
- ・評議員会の招集について

(報告事項)

- ・令和2年度資金収支補正予算の専決について
- ・会長及び常勤副会長の職務の執行状況について

○ 令和3年6月25日（金）開催

(議決事項)

- ・会長及び副会長の選定について
- ・評議員選任・解任委員会委員の選任について

(報告事項)

- ・選任された役員（理事・監事）について
- ・会長及び常勤副会長の職務の執行状況について

○ 令和3年12月20日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
(議決事項)

- ・評議員会の招集について

(報告事項)

- ・令和3年度資金収支補正予算の専決について
- ・令和3年度中間事業報告について
- ・令和3年度歳末たすけあい運動配分事業について

- 令和4年3月23日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議（議決事項）
 - ・定款の一部を改正する定款について
 - ・就業規則の一部を改正する規則について
 - ・嘱託職員等の雇用に関する規程の一部を改正する規程について
 - ・役員等賠償責任保険の契約について
 - ・令和4年度事業計画について
 - ・令和4年度資金収支当初予算について
 - ・評議員会の招集について
- （報告事項）
 - ・令和3年度資金収支補正予算の専決について
 - ・「第5次地域福祉活動計画」について
 - ・職員給与規程の一部を改正する規程の専決について
 - ・嘱託職員等の雇用に関する規程の一部を改正する規程の専決について

② 評議員会

- 令和3年5月7日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議（議決事項）
 - ・役員（理事・監事）候補者選出団体の選定について
- 令和3年6月25日（金）開催（議決事項）
 - ・令和2年度事業報告について
 - ・令和2年度会計決算報告について
監査報告
 - ・令和3年度資金収支補正予算について
 - ・たすけあい一時資金原資の欠損処理について
 - ・役員（理事・監事）の選任について
- （報告事項）
 - ・令和2年度資金収支補正予算の専決について
- 令和3年12月28日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議（報告事項）
 - ・令和3年度資金収支補正予算の専決について
 - ・令和3年度中間事業報告について
 - ・令和3年度歳末たすけあい運動配分事業について
- 令和4年3月29日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議（議決事項）
 - ・定款の一部を改正する定款について
 - ・役員等賠償責任保険の契約について
 - ・令和4年度事業計画について
 - ・令和4年度会計資金収支当初予算について

- ・役員（理事）の選任について
（報告事項）
- ・令和３年度資金収支補正予算の専決について
- ・「第５次地域福祉活動計画」について

（２）監事会

- 令和３年５月２７日（木）開催
 - ・令和２年度事業及び会計決算について監査実施

（３）評議員選任・解任委員会

- 令和３年６月１４日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
 - ・評議員の選任について

（４）専門委員会（企画委員会）

- 第１回 令和３年５月２５日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
（協議事項）
 - （１）令和２年度事業報告（案）について
- 第２回 令和３年８月２７日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
（協議事項）
 - （１）第５次地域福祉活動計画の策定について
 - （２）令和３年度「歳末たすけあい運動配分事業」について
 （報告事項）
 - （１）「新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式下での地域福祉活動再開に向けたガイドライン」の改訂について
 - （２）協議体の進捗状況について
 - （３）コロナ禍における女性の生活支援事業
～スマイル サニタリー プロジェクト～（女性の貧困対策）について
- 第３回 令和３年１１月１７日付決議 新型コロナウイルス感染防止の観点から書面審議
（協議事項）
 - （１）「令和３年度歳末たすけあい運動配分事業」について
 - ①令和３年度歳末たすけあい運動配分事業における申請の審議について
 - ②令和３年度「ミニおせちセットの無料配付事業」の実施について（継続事業）
 - ③令和３年度「クリスマスケーキプレゼント事業」の実施について（新規事業）
 （報告事項）
 - （１）「令和３年度中間事業報告」について

- 第4回 令和4年3月9日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から
書面審議

(協議事項)

(1)「令和4年度事業計画(案)」について

(5) 地区社会福祉協議会会長及び郡山地区社会福祉協議会支部長連絡会議

- 令和3年4月14日(水)、令和3年4月15日(木)開催
※新型コロナウイルスの感染防止の観点から、2日に分けて開催
・理事及び評議員選出地区の選定について

(6) 衛生委員会

- 毎月開催し、職員の健康や快適な職場環境づくりのための審議等

(7) 地区社会福祉協議会担当職員業務連絡会議

- 随時開催し、地区社会福祉協議会を育成・指導

(8) 自主財源の状況

()は対前年度比

① 社協会員の加入状況

①一般会員	82,291件(-189件)	25,582,050円(-145,610円)
②法人会員	389件(+16件)	4,155,000円(+215,000円)
③団体会員	10件(-1件)	70,000円(-5,000円)
④賛助会員	381件(-149件)	580,500円(-9,500円)
合計	83,071件(-323件)	30,387,550円(+54,890円)

② 福祉基金

- 基金額 160,065円(+100,000円)
○ 運用益 0円

③ ボランティア基金

- 基金額 259,763,388円(+110,136円)
○ 運用益 0円

④ 寄付金

①一般寄付	50件(+5件)	4,661,238円(+2,103,280円)
②福祉基金へ寄付	1件(±0件)	100,000円(+50,000円)
③ボランティア基金へ寄付	3件(-2件)	110,136円(-139,865円)
④施設・団体への指定寄付	21件(-11件)	2,180,120円(+283,926円)
合計	75件(-8件)	7,051,494円(+2,297,341円)

⑤ 物品寄付

受入 77件(+28件) 配分先 277件(+150件)

（９）社会福祉関係募金に関する説明会の開催

社会福祉関係募金（社協会員会費、共同募金、日赤活動資金）の目的及び使途の説明会を開催した。

- 令和４年２月２８日付令和４年度社会福祉関係募金の協力のお願いを文書により発送依頼

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、資料を送付。

（１０）共催事業並びに名義後援の状況

（ ）は対前年度比

- ① 共催事業 ０件（±０件）
- ② 名義後援 ９件（±０件）

《２ 人と人がつながり支え合う地域共生社会の推進》

（１）『第５次地域福祉活動計画』策定委員会の開催

令和３年度は『第４次地域福祉活動計画』の最終年度にあたり、各種事業の実施状況等について総括を行い、令和４年度を始期とした４年間の計画となる『第５次地域福祉活動計画』を策定するための策定委員会を設置。下記のとおり策定委員会を４回開催し、『誰一人取り残されない 安全・安心な地域共生のまち 郡山』を基本理念とする『第５次地域福祉活動計画』を策定した。

なお、策定にあたっては郡山市において策定する『第４期郡山市地域福祉計画』に呼応した計画とするため、郡山市の関係部局と協働で策定作業を進めた。

日 程	内 容
令和３年１２月１６日 新型コロナウイルスの 感染防止の観点から 書面開催	●第１回策定委員会 (１)「第４次地域福祉活動計画」の総括 (２)「第５次地域福祉活動計画」の概要について (３)今後の策定スケジュールについて
令和４年 １月２８日 新型コロナウイルスの 感染防止の観点から 書面開催	●第２回策定委員会 (１)「第５次地域福祉活動計画」(案)について 「Ⅰ 郡山市の地域福祉計画について」 「Ⅱ 社会福祉協議会の地域福祉活動計画について」 「Ⅲ 基本理念と基本目標について」 (２)基本目標に基づく重点取り組み事業等について

令和4年 2月14日 新型コロナウイルスの 感染防止の観点から 書面開催	●第3回策定委員会 (1)委員長及び副委員長の選任について(案) (2)「第5次地域福祉活動計画」(案)について 「Ⅳ 重点的に取り組む事業について」 「Ⅴ 地域福祉活動の推進体制や評価体制について」 (3)パブリックコメントの実施について(案)
令和4年 2月25日 新型コロナウイルスの 感染防止の観点から 書面開催	●第4回策定委員会開催 (1)「第5次地域福祉活動計画」答申(案)について (2)「第5次地域福祉活動計画」の進行管理(案) について
令和4年 3月 8日 市総合福祉センター 3階 研修室(洋室3)	●『第5次地域福祉活動計画』答申 策定委員の星委員長、熊田副委員長から太田市社協会長 へ答申

(2)『地区社協・支部社協連絡会議』の開催

【第1回】(新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、資料を送付)

期 日：令和4年3月23日(水)

内 容：令和4年度各種事業について

(3) 地区社協・支部社協『部会活動推進連絡会議』の開催

① 『募金部会連絡会』

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和3年9月16日に書類送付による開催を行った。

内 容：(1)社会福祉関係募金の趣旨と用途について

(2)共同募金の募金実績について

(3)新型コロナウイルス感染症対策による「募金活動実施にあたっての衛生配慮に係るガイドライン」について

(4)令和3年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金について

※『在宅福祉サービス部会研修会』『児童福祉推進部会研修会』『広報研修部会研修会』については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(4) 地区社協・支部社協における住民主体の地域住民支え合い活動の推進・支援及び地域福祉活動費の助成

① 地域福祉活動への助成

		対前年度比
① 地区社協運営費	21,985,985円	-157,675円
② 地域福祉推進費交付額 (平成27年度国勢調査結果に基づく世帯数@35円)	4,829,720円	±0円
③ ボランティア活動保険助成額(@150円) (1,392人分)	208,800円	-14,100円 (-94人)

② 地域福祉活動費（在宅福祉サービス推進費）の助成

○集いの場の構築

			対前年度比
集いの場の構築に係る活動費交付総額		2,538,700円	+1,255,338円
内 訳	① 会食会（参加者@300円）	880,800円	+439,500円
	② 茶話会（参加者@50円）	471,050円	+128,800円
	③ 会場費補助（開催か所@250円）	213,250円	+78,750円
	④ 子育てサロン（参加親子組数@300円）	135,600円	+59,400円
	⑤ 世代間交流（参加者@200円）	838,000円	+548,888円

○訪問による見守り活動

			対前年度比
訪問による見守り活動に係る活動費交付総額		4,648,320円	+949,205円
内 訳	① 配食サービス（配食先数@240円）	2,505,120円	+227,280円
	② 友愛訪問（訪問件数@200円）	2,143,200円	+721,925円

※世代間交流及び友愛訪問については、令和3年度より上限制から単価制に変更

（５）第２層協議体開催の支援及び協議体の設置に向けた地域の関係機関・団体との懇談会（勉強会）開催の支援

地域における生活課題やその課題を解決するために必要な生活支援について、また、介護予防に資する集いの場の創設を住民同士が話し合う「第２層協議体」の開催支援及び協議体設置に向けた勉強会の開催などに取り組み、新たに８か所が設置となった。（38か所の設置目標に対して計33か所設置済み。）

また、新型コロナウイルス感染症の影響により従来の活動に加え、以下の活動を積極的に実施した。

- ①新型コロナウイルス感染予防の周知、健康体操に関するチラシの作成配布
- ②地域資源の情報収集・取材活動
- ③設置済みの協議体の活動状況を周知するための冊子作成

○未設置の地区における第２層協議体設置の進捗状況

現在、生活支援コーディネーターが未設置の地区に対して働きかけを行い、地域の関係機関・団体と設置に向けた説明会、勉強会の開催について調整を行っている。

また、生活支援コーディネーターが、各方部民生委員協議会定例会や区長会等に順次出席し、協議体への理解を得るための説明及び設置への協力依頼を行っている。

※新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら参加・招集を行っている。

（６）生活支援コーディネーターの活動の充実

本市における生活支援体制整備事業の取り組みを推進する郡山市第１層生活支援コーディネーター業務を平成29年度から受託し職員１名を配置。平成30年４月からは郡山市第２層生活支援コーディネーター業務を受託し、現在、総勢13名を配置し活動を進めている。

① 第1層生活支援コーディネーターの活動実績

活 動 区 分	件数
①関係者との打ち合わせ、事業説明等に関する事	90
②地区説明会に関する事	2
③協議体の開催に関する事	38
④地域のニーズや資源の見える化に関する事	45
⑤担い手の育成に関する事	8
⑥ニーズとサービスのマッチング	4
⑦その他	29
合 計	216

② 第2層生活支援コーディネーターの活動実績

活 動 区 分	件数
①関係者との打ち合わせ、事業説明等に関する事	535
②地区説明会に関する事	29
③協議体の開催に関する事	127
④地域のニーズや資源の見える化に関する事	727
⑤担い手の育成に関する事	34
⑥ニーズとサービスのマッチング	169
⑦その他	115
合 計	1,736

(7)『住民参加型在宅福祉サービス事業』“たすけあい活動”の推進

平成30年4月から、生活支援の必要な方（高齢者、障がい者、妊産婦）を対象に、普段の暮らしの「ちょっとした困りごと（ゴミだし、掃除など）」をボランティアが有償（10分100円）でお手伝いする「住民参加型在宅福祉サービス事業」を開始した。

令和4年3月31日現在で利用会員は142名。支援にあたる助っ人会員数は47名（登録は95名）となっている。

また、助っ人会員として登録するために必要な条件である助っ人隊出前養成講座を9回実施した。（計160名受講のうち45名が登録）

① 利用登録者の世帯別内訳

内 訳	人数	割合
① 一人暮らし高齢者	106	54.7%
② 高齢夫婦世帯	28	14.4%
③ 障がい者のみ世帯	6	3.1%
④ 妊産婦のいる世帯	1	0.5%
⑤ その他の世帯	53	27.3%
合 計	194	100.0%

② サービス区分別利用実績

サービス区分	件数	割合
①ゴミ出し	2,685	89.6%
②掃除・片付け	155	5.2%
③庭の草むしり	2	0.1%
④買い物	26	0.9%
⑤話し相手	68	2.3%
⑥調理	34	1.1%
⑦洗濯	0	0.0%
⑧外出の付き添い（通院・散歩）	4	0.1%
⑨その他	22	0.7%
合 計	2,996	100.0%

③ 『住民参加型在宅福祉サービス事業“たすけあい活動”』 助っ人隊養成講座

○ 出前講座（内容「住民参加型在宅福祉サービス事業」たすけあい活動について）

①東原団地

期 日：令和3年4月23日（金）

会 場：東原団地集会所

参加者：8人

②緑ヶ丘東8町会

期 日：令和3年5月20日（木）

会 場：緑ヶ丘東八丁目集会所

参加者：5人

③コッセ亀田

期 日：令和3年6月22日（火）

会 場：C o s s e 亀田

参加者：13人

④西田地区協議体

期 日：令和3年6月23日（水）

会 場：西田ふれあいセンター

参加者：56人

⑤大成方部民生委員協議会

期 日：令和3年7月5日（月）

会 場：大成地域公民館

参加者：21人

⑥熱海地区

期 日：令和3年7月28日（水）

会 場：ほっとあたみ

参加者：11人

⑦大槻原田地区

期 日：令和3年11月12日（金）

会 場：原田集会所

参加者：9人

⑧中田地区

期 日：令和3年11月30日（火）

会 場：中田ふれあいセンター

参加者：22人

⑨芳山地区第2層協議体（神明町内会）

期 日：令和3年12月9日（木）

会 場：清水台地域公民館

参加者：15人

（8）東日本大震災及び福島第一原発による避難者支援の推進

① 生活支援相談員の配置

避難者生活支援相談室長1名、主任生活支援員2名、生活支援相談員8名を配置し、避難者支援を推進した。

② 県中・県南・会津地区被災者見守り・相談支援連絡会議（調整会議）

県中・県南・会津において、被災者支援業務に従事する避難元・避難先社協等関係機関が一堂に会し、情報共有と緊密な連携等を目的に、連絡会議（調整会議）を開催している。（福島県社協主催）

第1回 7月9日（金） 郡山市総合福祉センター

第2回 11月12日（金） ホテル福島グリーンパレス

第3回 3月2日（水） オンライン会議

<参加団体>

福島県社協、県中・県南・会津市町村社協の主任生活支援員及び生活支援相談員、避難元、避難先行政、各関係機関等

③ 市内におけるサロン等の活動支援

市内9ヶ所にある復興公営住宅集会所で行われているサロン等は、新型コロナウイルス感染防止対策のため自粛となり支援活動は出来なかった。

各避難元社協（富岡町・大熊町・双葉町）や関連団体が主催するイベント等の支援も同様に自粛となる。

④ 市内の復興公営住宅、借り上げ住宅、再建住宅への訪問活動

市内に避難されている住民（以下「避難住民」）の自立再建を目的に、復興公営住宅や借り上げ住宅、再建住宅への郡山市社協単独個別訪問、及び避難元社協（大熊町）との同行戸別訪問を実施した。

新型コロナウイルス感染症防止対策をとりながら玄関先にて短時間の見守り訪問（世帯の状況により室内での訪問あり）や電話での様子伺い、世帯状況に合わせ訪問を実施した。

6月、9月、12月、3月は大熊町社協との同行訪問となる。

不在世帯は再訪問にて、見守りを強化（孤独死等を防ぐ）している。

- ⑤ 避難者向けサロン事業『コミュニティサロン Rococo〜ろここ〜』の開催
避難住民の交流促進の場づくりと、趣味や生きがいをもち充実した日常生活を送ることを目的として「お出掛け・施設見学・物づくり」等のサロンを開催。

新型コロナウイルス感染症予防対策(参加人数の見直し等含)を行いながら実施した。

○お出かけサロンは新型コロナウイルス感染防止対策のため中止。

○施設見学についても新型コロナウイルス感染対策による施設の都合にて中止。

実施内容：4月6日 花の寄せ植え

7月6日 陶芸教室

10月5日 花の寄せ植え

11月2日 染め物教室

12月7日 人生設計セミナー

会 場：市総合福祉センター

参 加 者：延べ76人

- ⑥ 地域コミュニティ復興支援事業

- 健康づくり事業

避難住民と市民との交流の場と日ごろの運動不足解消、更には健康寿命を延ばすことを目的として開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防対策(参加人数の見直し等含)を行いながら実施した。

- ①実施内容：ボウリング大会

開 催 日：6月15日

会 場：ボウルピア郡山

- ②実施内容：グラウンドゴルフ

開 催 日：10月19日、11月16日、12月14日

会 場：バーデングラウンド・ゴルフクラブ

参 加 者：延べ38人

- ③実施内容：健康体操教室（延期）

開 催 日：1月18日、2月15日、3月15日

※令和4年度開催予定

会 場：市総合福祉センター

⑦ 訪問実績

復興公営住宅、借上・再建住宅への単独訪問及び避難元社協との同行訪問世帯数

	対 象 世 帯・人数 (R3. 4)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
郡 山 市 社 協 単 独 訪 問	富岡町 372 世帯 746 人	124	131	193	102	89	90	128	168	147	98	82	119	1,471
	大熊町 184 世帯 397 人	29	13	0	21	20	9	25	25	0	21	25	22	210
	双葉町 126 世帯 204 人	48	33	50	53	24	37	54	48	44	60	20	24	495
	浪江町 181 世帯 360 人	64	49	93	84	41	76	89	79	66	67	22	113	843
	川内村 2 世帯 2 人	2	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	6
	広野町 1 世帯 1 人	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	5
	小 計 866 世帯 1,710 人	267	226	336	261	174	212	298	320	258	249	150	279	3,030
同 行 訪 問	双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大熊町	0	0	64	0	0	64	0	0	62	0	0	62	252
	浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	0	0	64	0	0	64	0	0	62	0	0	62	252
合 計		267	226	400	261	174	276	298	320	320	249	150	341	3,282

(9) 令和元年台風第 19 号豪雨災害被災者支援の推進 (『こおりやま災害支援ネットワーク』との連携等)

郡山市台風 19 号生活支援・地域ささえあいセンター事業
高齢者等要配慮者見守り支援

<目的・内容>

令和元年台風 19 号豪雨災害による被災を原因として避難した市民が、現に居住する地域において、安定的な日常生活を営むことができるよう支援する。

住宅被災により公営住宅、仮設住宅等に入居している高齢者等要配慮者の世帯を訪問・電話等により見守り支援を行う。相談や情報提供及び関係機関へのつなぎと連携による支援活動を行う。

○ 訪問等実績 対象世帯・人数 50 世帯・84 人

(世帯数)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
訪問	在宅	16	6	23	39	5	6	21	11	5	7	4	0	143
	不在	24	3	8	17	7	2	24	10	3	9	4	4	115
電 話		1	2	1	14	2	1	5	0	3	5	0	0	34
来 所		1	0	0	8	0	0	1	0	0	0	0	1	11
他機関連携		2	2	4	2	0	0	2	4	2	5	0	0	23
転 居		0	0	8	6	0	0	2	1	0	2	0	0	19
アンケート投函		0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
合 計		44	13	44	94	14	9	55	26	13	28	8	5	353

※新型コロナウイルス感染防止対策にて、対象者に合わせた戸別訪問を実施した。
(電話による様子伺いや玄関先での短時間訪問となる)

《3 地域課題を我が事とし解決できる環境づくり》

(1) 福祉なんでも相談事業の充実

各地区で開催されている「いきいきサロン」や「子育てサロン」などの集いの場に、福祉活動専門員及び生活支援コーディネーターが訪問し、運営に参加しながら地域の困りごとや課題の把握及び社会資源の情報提供を行うなど、地域における相談窓口として機能する体制の構築に努めた。

また、地域包括支援センターが主催する地域ケア圏域会議に出席し、専門職との連携強化に努めた。

(2) 丸ごと相談窓口の整備

本会が有する相談支援機関(事業所)をワンフロアに集中させ、高齢者、障がい者、児童、生活困窮者等を対象に、福祉サービスの利用支援、日常生活支援、権利擁護に関する支援、生活福祉資金の貸付や就労支援、フードバンク事業による食料品等の提供、更には虐待など幅広い生活課題・福祉課題にワン・ストップで対応できるよう包括的な相談体制を整備し、課題解決に向け個別的な相談支援を行った。

(3) ボランティアセンターの運営及びボランティアコーディネートの充実

ボランティアコーディネート業務の充実を図るため、ボランティア登録内容の更新手続き等を行ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、ボランティアについても活動自粛を余儀なくされ、調整件数や相談件数が大幅に減少した。コロナ禍であることを踏まえ、地域に出向くアウトリーチ型の「福祉教育」を積極的にすすめ、ボランティアコーディネートの業務の充実を図った。

① ボランティア関係相談の受付状況

相談区分	件数	対前年度比
① ボランティアをしたい・ボランティアを求む 上記に対するボランティアの調整件数	506 (130)	+193 (+15)
② 実践者等からの活動上の相談・連絡調整	224	-194
③ ボランティア・市民活動に関する情報提供	803	+549
④ ボランティア活動保険等に関する相談	673	+275
⑤ 器材貸出などボランティア学習に関する相談	268	+32
合 計	2,474	+855

② ボランティア新規登録数

【新規登録】 団体登録 4 団体 (56 人)、個人登録 22 人

【団体登録総数】 76 団体 (17,139 人)、個人登録者総数：66 人

(4) 出前ボランティアスクールの開催

① ポラリス保健看護学院 臨地実習

期 日：令和3年5月18日（火）

会 場：郡山市社会福祉協議会事務所

内 容：講義「社会福祉協議会について」

② 西田学園（義務教育学校）

期 日：令和3年7月14日（水）

会 場：西田学園 チャレンジルーム 他

内 容：疑似体験学習「社会福祉協議会・ボランティアについて」

参加者：40 人

③ 市民コミュニティソーシャルワーカー研修会 in 福島 2021

期 日：令和3年8月21日（土）

会 場：福島コトひらく

内 容：講義「小地域ネットワーク活動と協議体活動について」

参加者：6 人

④ 星総合病院「令和3年度 セカンドライフ研修」

期 日：令和3年9月29日（水）、10月11日（月）

会 場：星総合病院

内 容：講義「第二の人生をアクティブに生きるために」

参加者：16 人

⑤ 郡山水と緑の案内人の会 研修会

期 日：令和4年3月30日（水）

会 場：市総合福祉センター、開成山公園

内 容：車いすの正しい使用方法の講習

参加者：9 人

(5) 分野別ボランティア講座（災害救援ボランティア養成講座）の開催

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした。

(6) 夏・ボランティア体験プログラムの開催

体験先が福祉施設が大半を占めることから、参加者及び関係者の健康と安全を最優先に考慮し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「2021 夏・ボランティア体験プログラム」を中止とした。

(7) 地域ぐるみ雪かきボランティアコーディネート事業の推進

① 雪かきボランティア及び利用者登録状況

個 人	22人
団 体	10団体
利用希望者	59人

※46 件の依頼があり、延べ 51 人の雪かきボランティアが活動。

② 雪かきボランティア体験プログラム in 湖南町（全 2 回）

2 回とも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(8) ボランティア活動保険の加入促進

① 加入者総数 5,077 人（対前年度同期比+78 人）

※うち助成対象者 1,392 人

(9) 令和 4 年 3 月 16 日福島県沖地震 災害ボランティアセンターの活動

① 令和 4 年 3 月 16 日福島県沖地震 災害ボランティアセンターについて

❶ 令和 4 年 3 月 16 日福島県沖地震 災害ボランティアセンターの設置・運営

令和 4 年 3 月 16 日（水）に発生した福島県沖地震に伴い、令和 4 年 3 月 17 日から本会事務局に「令和 4 年 3 月 16 日福島県沖地震 災害ボランティアセンター」を設置・運営。

主な災害ボランティア活動の内容は、倒れた家具の現状復帰や整理、部屋の片付けなどで、延べ 104 名が災害ボランティアを行った。

❷ 災害ボランティア活動者数：延べ 104 名（新規登録者 8 名）

❸ 災害ボランティア活動内容：倒れた家具の現状復帰や整理、部屋の片付け等 延べ 30 件

《4 住民に寄り添い、後押しする相談・支援の強化》

（１）日常生活自立支援事業（あんしんサポート）の推進

福島県社会福祉協議会からの受託事業として実施。認知症や知的・精神障がいなどにより日常生活に不安がある方と利用契約を締結し、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービス、重要書類等の預かりサービスなどの支援を行った。

① 相談・問い合わせ件数、契約締結件数 () は対前年度比

	日常生活自立支援事業の利用に関するもの				合 計
	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	
相談・問合せ件数	1,568(+148)	821(+450)	1,416(+631)	226(+138)	4,031(+1,367)
上記のうち新規相談者	53 (+11)	13 (-1)	11 (-8)	5 (+2)	82 (+4)
当年度の契約締結件数	6 (-18)	5 (-3)	6 (-6)	1 (±0)	18 (-27)
契約締結件数の累計	206	61	60	14	341
令和4年3月末日現在の契約件数					102

（２）成年後見事業（法人後見）推進体制の整備

高齢化や核家族化の進行に伴い、単身高齢者の増加が見込まれるなか、認知機能の低下などによって、適切な金銭（財産）管理や社会生活上の法律行為を自己対応できない高齢者等に対する地域における権利擁護の推進を強化するため、成年後見制度に関する事業（法人後見事業）を実施し、同制度に関する各種相談業務や制度の周知・広報に努めた。

なお、令和3年度においても、福島家庭裁判所から後見人等の受任を要請されたケースはないが、後見人等の受任後において、後見業務が円滑に実施することが可能となるよう担当職員のスキルアップをめざし、各種の研修会に積極的に参加し、受任体制の強化に努めた。

また、「成年後見制度の利用の促進に関する法律」に定める権利擁護支援の地域連携ネットワーク機関（中核機関）の受託を目指し、成年後見制度のさらなる推進に向けて取り組みの強化を行った。

○ 令和3年度における相談対応件数：11件（対前年度比+8件）

（３）生活困窮者自立支援事業の推進（郡山市受託事業）

郡山市が設置する「自立支援相談窓口」業務の一部を受託し、相談支援員として職員3名を配置し、『暮らし』や『仕事』などの経済的な困り事を抱える生活困窮世帯等からの相談・支援に応じた。なお、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響による生活福祉資金（特例貸付）の実施に伴い、相談対応件数が大幅に増加した。

○ 相談受付延べ件数：3,572件（対前年度比+1,537件）

（うち新規相談件数：1,145件 継続相談件数：2,427件）

(4) 生活困窮者就労準備支援事業の充実（郡山市受託事業）

令和元年6月から生活困窮者自立支援法に基づく郡山市生活困窮者就労準備支援事業を郡山市より受託して実施。様々な事情から「就労」につながりにくい生活困窮者等に対して、ボランティア活動への参加、就労意欲の喚起、就労体験の実施などの多様な支援を通じて就労に向けた準備を整え、就労の定着に向けた個別の支援プログラムを作成し、支援メニューの提供を行った。

- 利用者等との面談・相談・支援延べ件数：333件（対前年度比+82件）
- 支援プログラム作成延べ件数：30件（対前年度比-18件）

(5) 「こおりやまフードバンク事業」の推進

郡山市の「自立支援相談窓口」と連携し、経済的な自立に向けた支援の一環として「こおりやまフードバンク事業」を実施。緊急的な支援を必要とする相談者に対し、食料品等を提供した。

- 提供件数：159件（対前年度比+53件）

(6) 住宅確保要配慮者に対する相談支援の充実

高齢者、障がい者、生活困窮者など、住まいの確保に課題を抱える人（以下、「住宅確保要配慮者」）が増加していることを踏まえ、郡山市「生活困窮者自立支援窓口」などの関係機関や不動産事業所等と連携し、「住居確保要配慮者」に対する相談支援体制の強化に向けた取り組みを推進した。

なお、今後は先進的に「住居確保要配慮者」に対する居住支援を行っている団体等への視察を行うなど、具体的な支援メニューを開発し、住宅セーフティネット法に定める郡山市における「居住支援協議会」の設立に向けて、関係機関・団体との連携強化を推進するための調査・研究を行う。

さらには、郡山市内の社会福祉法人との連携による「社会福祉法人の地域における公益的な取組」として実践できるよう研究・討議の場を設置していく。

(7) 生活福祉資金等貸付事業の推進

福島県社会福祉協議会からの受託事業として実施。他の貸付制度が利用できない低所得世帯や高齢者世帯、障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を図るため、無利子または低利子で資金の貸付を行った。

生活福祉資金貸付事業の推進状況一覧

() は対前年度比

No.	資金種類	申込取次件数	貸付決定金額
①	総合支援資金		
	生活支援費（新規申込）	2件（-7）	240,000円（ -1,704,000）
	生活支援費（変更申込）	3件（-4）	660,000円（ -845,000）
	住宅入居費	0件（±0）	0円（ ±0）
	一時生活再建費	0件（±0）	0円（ ±0）

②	福祉資金		
	福祉費	0件 (-3)	0円 (-898,000)
	緊急小口資金	20件 (-4)	1,297,000円 (-551,000)
③	教育支援資金	2件 (-5)	1,250,000円 (-9,096,000)
④	不動産担保型生活資金	0件 (±0)	0円 (±0)
⑤	臨時特例つなぎ資金	1件 (+0)	30,000円 (-5,000)
⑥	生活復興支援資金	0件 (±0)	0円 (±0)
合 計		28件 (-23)	3,477,000円 (-13,099,000)

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う生活福祉資金（特例貸付）の実施状況については別に掲載

（８）たすけあい一時資金の貸付事業の実施

一時的に生活資金が必要な場合で、他からの借入が困難な低所得世帯に対して「たすけあい一時資金」の貸付を行った。

たすけあい一時資金の貸付状況一覧

（ ）は対前年度比

貸付総数	貸付総額	一般貸付		福祉事務所経由	
		件数	貸付金額	件数	貸付金額
73件 (-8)	1,973,000円 (-435,000)	3件 (±0)	120,000円 (+39,000)	70件 (-8)	1,853,000円 (-474,000)

《５ 地域の団体の協力関係とネットワークの構築》

（１）歳末たすけあい運動募金配分事業

①各地区社協・支部社協をはじめ、市内のボランティア団体、NPO活動団体等 255 の団体に対し配分事業についての周知と募集を行い、申請のあった延べ 50 団体に対して配分を行った。

（ ）は対前年度比

○配分金総額	3,753,000 円 (+319,000 円)
・ご近所除雪事業	12,000 円 (+12,000 円)
・クリスマス会事業	1,781,000 円 (+289,000 円)
・年末年始見回り事業	441,000 円 (-131,000 円)
・おせち配食事業	900,000 円 (+153,000 円)
・子ども食堂事業	32,000 円 (+11,000 円)
・新年会事業	587,000 円 (-15,000 円)

②新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯等を対象としたミニおせちセットの無料配付事業を行った。

○配付内容：ミニおせちセット&和菓子詰め合わせセット 150 個

③郡山市内で活動している子ども食堂やファミリーホーム（小規模住居型児童養育事業）実施団体を対象にクリスマスケーキをプレゼントする事業を行った。

○配付内容：クリスマスケーキ 37 個

（ホールケーキ※ 6 名につき 1 ホールずつプレゼント）

※(株)ヨークベニマルから協賛をいただき、414 人分のお菓子セットを併せてプレゼントした。

（２）社会福祉法人の地域における公益的な取り組みの推進

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止とした。

《 6 誰にでもわかりやすい情報の発信と福祉啓発》

（１）「こおりやま社協だより」「こおりやま社協ニュース」の発行

こおりやま社協だより及びこおりやま社協ニュースを発行し、市民への福祉に関する幅広い情報の提供に努めた。令和３年度は、社協だより 1 回発行、社協ニュース 5 回発行

① 社協だより

発行日：令和３年 7 月 1 日（第 135 号）

② 社協ニュース

発行日：令和３年 4 月（号外）

令和３年 5 月（No.8）

令和３年 9 月（No.9）

令和３年 11 月（No.10）

令和４年 2 月（No.11）

（２）ファミリーフェスタ 2020 の開催

令和３年 10 月 15 日付「保健・福祉フェスティバル郡山 2021」実行委員会を书面審議により開催し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から動画配信によるオンライン開催を決定。

○動画配信期間：令和３年 12 月 13 日（月）～12 月 31 日（金）

○総視聴回数：1,890 回

（３）地域福祉推進セミナー

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。

(4) ホームページ・SNS による情報発信

ホームページ及びフェイスブックによる情報提供を行った。

○ホームページ閲覧者数：45,353 人

(5) 郡山市認知症高齢者 SOS 見守りネットワーク事業への協力

(ICT (情報通信技術) 活用によるメール配信検索事業)

徘徊し行方不明となった認知症高齢者を早期に発見するため、ICT (情報通信技術) の活用によるメール配信検索事業を実施した。

○登録支援者数：242 名

○メール配信件数：7 件

《7 各種福祉事業の推進》

(1) 『福祉バス運行事業』の実施

① 運行回数：38 回

○利用団体別内訳

利用団体	件数	割合
①地区社協・支部社協	9	23.7%
②高齢者・ひとり親、障がい児者の福祉団体	12	31.6%
③ボランティア団体（ボランティアセンター登録団体）	0	0.0%
④民児協連合会及び方部民協	4	10.5%
⑤社会福祉関係団体	13	34.2%
合計	38	100.0%

○利用目的別内訳

利用目的	件数	割合
①視察研修	4	10.5%
②交流会	12	31.6%
③いきいきサロン	2	5.3%
④買い物移動支援	7	18.4%
⑤学童イベント	0	0.0%
⑥その他（※）	13	34.2%
合計	38	100.0%

※ その他の内訳は世代間交流、施設見学等

② 延べ乗車実人数：461 人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、乗車定員を制限。

(2) 『高齢者の買い物を目的とした移動等を支援するための事業』の実施

○実績 実施回数 3回(対前年度比 -5回)
参加人数 42名(対前年度比 -25人)

※27回実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、24回は中止。

地区社協名	実施日	店舗名	参加人数
安 積	12月2日(木)	午前 ファッションセンターしまむら郡山 久留米店、ヨークベニマル荒井店	11
		午後 ヨークベニマル金屋店 ダイユーエイト郡山金屋店	8
	3月17日(木)	午前 ヨークベニマル荒井店	9
		午後 ヨークベニマル金屋店 ダイユーエイト郡山金屋店	7
熱 海	12月1日(水)	あだたらの里直売所、プラント5大玉店	7

(3) 『火災等被災者への見舞金支給事業』の実施

() は、対前年度比

- ① 見舞金交付：全焼・全壊 15件 490,000円 (+7件・+280,000円)
半焼・半壊 0件 0円 (-19件・-290,000円)
床上浸水 0件 0円 (±0件・±0円)
弔慰金 1件 10,000円 (-1件・-10,000円)

(4) 郡山市民生児童委員協議会連合会への支援

- ① 郡山市民生児童委員協議会連合会への支援
○ 運営費補助金の交付 200,000円(対前年度同額)
- ② 令和3年度総会(新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から書面審議)
期 日：令和3年6月1日付審議

(5) 郡山市高齢者作品展の開催

- ① 実行委員会総会(書面審議)
期 日：令和3年10月21日
内 容：(1)令和3年度実行委員会会則(案)について
(2)令和3年度作品展開催要項(案)について
(3)令和3年度収支予算(案)について
- ② 審査会
期 日：令和4年1月19日(水)
会 場：けんしん郡山文化センター

③ 一般公開

期 日：令和4年1月21日（金）～23日（日）

会 場：けんしん郡山文化センター

特賞受賞作品数：20点

出品者数：1,182人

来場者数：延べ457人

《8 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応について》

（1）新型コロナウイルス感染対策による「新しい生活様式」下の地域福祉活動再開に向けたガイドラインの作成

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人と人との互いに距離をとり、接触の機会を減らした「新しい生活様式」の実践が求められ、「新しい生活様式」下での地域福祉活動の一助として、令和2年6月にガイドライン（第1版）を作成。令和3年度も、随時、更新を行った。（現在、第3版を発行）

（2）甘酒の配付による友愛訪問活動の実施

コロナ禍で「いきいきサロン」などの集いの場を開催できない状況を踏まえ、「フードバンク郡山そとね」様から寄付のあった「ぴんくのりんご甘酒」を地区社協・支部社協の地域福祉推進事業における「友愛訪問活動」等により配付を行い、訪問による見守り活動の強化を行った。

（3）飛沫防止パネル・体温計等の貸出

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各地区社協・支部社協で、感染予防策を講じたうえで活動していくため、飛沫防止パネル等の貸出。

（4）生活福祉資金（特例貸付）の実施

福島県社会福祉協議会からの受託事業として実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により収入が減少した世帯に対して当面の生活費として貸付を行った。

実施期間は令和2年3月25日～令和4年8月末日までの予定。

① 緊急小口資金（特例貸付）件数及び金額

月	申込取次件数	決定件数	決定金額
4月	132 件	130 件	25,050,000 円
5月	129 件	106 件	19,900,000 円
6月	157 件	166 件	31,500,000 円
7月	128 件	136 件	26,070,000 円
8月	141 件	124 件	23,830,000 円
9月	127 件	152 件	29,100,000 円
10月	86 件	79 件	15,100,000 円
11月	86 件	83 件	15,940,000 円
12月	39 件	56 件	10,850,000 円
1月	43 件	26 件	5,050,000 円
2月	57 件	59 件	11,230,000 円
3月	55 件	62 件	11,850,000 円
計	1,180 件	1,179 件	225,470,000 円

【申込要件】

対象世帯：新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、収入の減少があり、緊急かつ一時的に生計維持のために貸付金を必要とする世帯

貸付上限額：1世帯 20万円以内（無利子）

据置期間：1年間 償還期限：2年以内

※貸付決定まで2週間程度

② 総合支援資金（特例貸付）件数及び金額

月	申込取次件数	決定件数	決定金額
4月	118 件	156 件	106,750,000 円
5月	88 件	80 件	43,000,000 円
6月	134 件	121 件	64,150,000 円
7月	119 件	110 件	56,710,000 円
8月	122 件	133 件	69,750,000 円
9月	107 件	103 件	53,050,000 円
10月	91 件	98 件	51,550,000 円
11月	91 件	85 件	45,650,000 円
12月	47 件	51 件	26,400,000 円
1月	38 件	35 件	17,800,000 円
2月	42 件	45 件	22,700,000 円
3月	61 件	53 件	27,350,000 円
計	1,058 件	1,070 件	584,860,000 円

【申込要件】

対象世帯：新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯

貸付上限額：月額15万円以内（単身世帯） 無利子

月額20万円以内（複数世帯） 無利子

貸付期間：3ヵ月間（必要があれば、追加で最大3ヵ月間の延長可能）

据置期間：1年間 償還期限：10年以内

※貸付決定まで3週間程度

③ 総合支援資金（特例貸付）再貸付 件数及び金額

令和3年2月19日～令和3年12月実施

月	申込取次件数	決定件数	決定金額
4月	48 件	57 件	29,850,000 円
5月	31 件	33 件	17,910,000 円
6月	98 件	95 件	51,300,000 円
7月	113 件	106 件	54,400,000 円
8月	169 件	165 件	85,930,000 円
9月	159 件	158 件	85,200,000 円
10月	71 件	82 件	43,050,000 円
11月	92 件	89 件	47,100,000 円
12月	69 件	71 件	37,200,000 円
1月	4 件	13 件	6,300,000 円
計	854 件	869 件	458,240,000 円

【申込要件】

対象世帯：上記①および②の貸付を受けてもなお、収入の減少が継続しているため、
日常生活の維持が困難になっている世帯

貸付上限額：月額15万円以内（単身世帯） 無利子

月額20万円以内（複数世帯） 無利子

貸付期間：3ヵ月間

据置期間：1年間 償還期限：10年以内

※貸付決定まで3週間程度

（5）学生等に対するこおりやまフードバンク事業（緊急食糧支援）の実施

① 学生に対する緊急食糧支援

福島県社会福祉協議会からの提唱に応じ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でアルバイト収入等が激減した学生や留学生（大学・短大・高等専門学校・専門学校）に対して、緊急的に食料品を提供した。

（6）フードドライブ事業の実施

上記の緊急食糧支援に対応するため、広く一般市民に食料品等の提供を呼びかける「フードドライブ事業」を新たに開始した。この取り組みにより、当事業開始前に比べて食料品の在庫量が増加し、より多くの学生・留学生等に対して安定的に食料品を提供することが可能となった。

○食料品の提供を受けた件数：40件（対前年度比+25件）

(7) 女性の生活支援事業 ～スマイル サニタリー プロジェクト～ の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、収入の減少などによる経済的事情により生理用品等を購入できない女性に対し、生理用品等が無償で提供する活動を新たに開始した。(※令和3年8月10日～事業開始)

また、本活動を実施するにあたり、郡山市民や一般企業・各種団体に対し、生理用品の提供を呼び掛けるチラシの配布やホームページ、フェイスブック等の媒体を活用しての広報活動を展開し、広く提供の呼びかけを行った。

- 生理用品等の提供を行った件数：262 件
- 生理用品等の寄付を受けた件数：27 件

《9 在宅福祉サービス及び介護予防・生活支援事業の推進》

(1) ホームヘルプサービスセンター事業

①介護保険事業

❶ (介護予防) 訪問介護

○利用者の状況 (要介護度別) (単位：人)

年度 \ 介護度	事業 対象 者	要支援		要介護					合計
		1	2	1	2	3	4	5	
令和3年度	12	829	755	843	377	112	73	68	3,069
令和2年度	18	853	951	928	403	128	73	86	3,440
対前年度比	-6	-24	-196	-85	-26	-16	±0	-18	-371

○収入の状況 (国保連請求額) (単位：円)

年 度	令和3年度	令和2年度	対前年度比
金 額	74,762,623	82,087,093	-7,324,470

❷ (介護予防) 訪問入浴介護

○利用者の状況 (要介護度別) (単位：人)

年度 \ 介護度	要支援		要介護					合計
	1	2	1	2	3	4	5	
令和3年度	0	0	11	0	7	13	35	66
令和2年度	0	0	11	0	8	12	50	81
対前年度比	±0	±0	±0	±0	-1	+1	-15	-15

○収入の状況 (国保連請求額) (単位：円)

年 度	令和3年度	令和2年度	対前年度比
金 額	5,624,494	5,610,786	+13,708

②障がい者福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・移動支援）

○利用者の状況 (単位：人)

年 度	令和 3 年度	令和 2 年度	対前年度比
人 数	667	731	-64

○収入の状況（国保連請求額） (単位：円)

年 度	令和 3 年度	令和 2 年度	対前年度比
金 額	17,728,229	18,618,874	-890,645

③郡山市受託事業

①産後ヘルパー派遣事業

○利用者の状況 (単位：人)

年 度	令和 3 年度	令和 2 年度	対前年度比
人 数	70	71	-1

※令和 2 年 9 月から生後 1 歳の誕生日まで利用できるようになった。

○収入の状況（郡山市） (単位：円)

年 度	令和 3 年度	令和 2 年度	対前年度比
金 額	620,950	565,920	+55,030

②障害者在宅訪問入浴サービス事業

○利用者の状況 (単位：人)

年 度	令和 3 年度	令和 2 年度	対前年度比
人 数	61	53	+8

○収入の状況（郡山市） (単位：円)

年 度	令和 3 年度	令和 2 年度	対前年度比
金 額	5,202,540	4,056,800	+1,145,740

③いきいきデイクラブ事業

今年度は、台風 8 号により 7 月 27 日は中止。また、新型コロナウイルス感染症による「まん延防止等重点措置」により 8 月 24 日から 9 月 24 日まで、1 月 26 日から 3 月 6 日まで中止。さらに、福島県沖地震により 3 月 17 日は中止。

○利用者の状況

[受託地域／三穂田、喜久田、日和田、湖南、熱海、田村、中田、西田]

(単位：人)

年 度	令和 3 年度	令和 2 年度	対前年度比
人 数	2,034	1,888	+146

※三密を防ぐため、1 回あたりの参加者の人数を制限し班の数を増やして開催した。

④養成・研修事業（外部研修等への職員の派遣）

研修名	期日	開催地	人数
訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅰ	7月12日	郡山市	1
訪問介護適正実施研修Ⅰ	9月14日 ・15日	オンライン	1
訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅱ ～介護職のコミュニケーション技術・接遇 マナー、介護技術と危険予知について～	9月24日	オンライン	1
訪問介護適正実施研修Ⅱ	12月22日 ・23日	ビッグパレット ふくしま	1
介護人材確保育成支援セミナー	2月21日～ 3月13日	オンライン	5
障がい者虐待防止研修会	2月25日	オンライン	1
延べ人数			10

⑤実習生受入状況

学校・団体数	受入人数	受入日数
0か所	0人	延べ0日

※新型コロナウイルス感染症予防のため受け入れ自粛。

（２）指定居宅介護支援事業

①ケアプラン作成件数等

○利用者の状況（単位：人）

年 度	令和3年度	令和2年度	対前年度比
人 数	1,751	1,722	+29

○収入の状況（国保連請求額）（単位：円）

年 度	令和3年度	令和2年度	対前年度比
金 額	27,924,850	27,202,900	+721,950

②要介護認定調査事業等

○利用者の状況（単位：人）

年 度	令和3年度	令和2年度	対前年度比
人 数	249	302	-53

○収入の状況（郡山市等）（単位：円）

年 度	令和3年度	令和2年度	対前年度比
金 額	1,107,250	1,215,977	-108,727

③養成・研修事業（外部研修等への職員の派遣）

研修名	期日	開催地	人数
自立支援に資する介護予防ケアマネジメント研修	6月23日	Zoom研修	2
災害時の対応について利用者の早めの避難をどのようにするか？	10月29日	郡山市	1
家族信託の基礎	11月12日	Zoom研修	5
地域共生社会の現実に向けて～気にかけて繋がりから始まる地域づくり～	12月6日	郡山市	5
東北ブロック地域包括・在宅介護支援センター職員研修会	12月7日～ 12月13日	Zoom研修	1
県中医療圏退院調整ルール 運用評価会議	12月16日	Zoom会議	1
居宅協と包括協の主任会議支援専門員事例検討会 Dブロック	12月20日	郡山市	1
医療と介護の連携に係る研修会	1月14日	Zoom研修	1
自己啓発研修会	1月18日	Zoom研修	1
令和3年度介護報酬改定の概要について	2月18日	Zoom研修	5
業務継続計画（BCP）策定と取り組み～現場から考える非常災害への準備～	3月4日	Zoom研修	1
リスクマネジメント～転倒や誤嚥、知っておこうリスクマネジメント～	3月8日	Zoom研修	1
介護の現場の感染対策～COVID19を中心に～	3月10日	Zoom研修	1
虐待防止「不適切ケアに気付ける組織づくり」	3月11日	Zoom研修	1
コロナ禍における退院調整について	3月11日	郡山市	1
クレーム対応～介護のクレーム・苦情対応のテクニック～	3月11日	Zoom研修	1
福祉まるごと相談窓口活動報告	3月22日	Zoom会議	3
自殺予防のワンステップ～青年期特有の生きにくさの理解と支援～	3月25日	Zoom研修	2
延べ人数			34

④実習生受入状況

学校・団体数	受入人数	受入日数
2か所	14人	延べ7日

（3）指定特定・障害児相談支援事業及び障がい者相談事業

①計画相談

○利用者の状況

（単位：人）

年 度	令和3年度	令和2年度	対前年度比
人 数	347	323	+24

○収入の状況（国保連請求額）

（単位：円）

年 度	令和 3 年度	令和 2 年度	対前年度比
金 額	4, 886, 580	4, 229, 190	+657, 390

②障害児相談

○利用者の状況

（単位：人）

年 度	令和 3 年度	令和 2 年度	対前年度比
人 数	227	273	-46

○収入の状況（郡山市等）

（単位：円）

年 度	令和 3 年度	令和 2 年度	対前年度比
金 額	3, 608, 530	4, 051, 460	-442, 930

③委託相談

○利用者の状況

（単位：人）

年 度	令和 3 年度	令和 2 年度	対前年度比
人 数	645	379	+266

④養成・研修事業（外部研修等への職員派遣）

研修名	期日	開催地	人数
福島県障がい者相談支援従事者養成研修	7 月 13 日、14 日	Zoom 研修	2
令和 3 年度第 1 回初任者 1 年目研修会	8 月 27 日	郡山市	3
福島県障がい者相談支援従事者養成研修	9 月 1 日、2 日	郡山市	2
福島県障がい者相談支援従事者養成研修	10 月 6 日、7 日	郡山市	2
福島県障がい者相談支援従事者養成研修	11 月 18 日	郡山市	2
相談支援従事者フォローアップ研修会	11 月 22 日	郡山市	2
平成 3 年度第 4 回初任者 1 年目研修会	12 月 23 日	郡山市	2
福島県障害支援区分認定調査研修会	1 月 7 日	Zoom 研修	2
第 9 回罪を犯してしまった高齢者・障がい者の地域生活支援研修会	2 月 22 日	郡山市	5
延べ人数			22

（４）障がい者基幹相談支援センター事業

① 業務実績件数

業 務 分 類	項 目	実施件数
人 財 共 成	①各種研修会（準備）	128
	②事例検討会	26
	③新人相談員のフォローアップ（個別）	16
	④新人相談員の研修会	53
	⑤その他の研修	35
相談体制強化	⑥委託相談連絡会への参加	38
	⑦各種会議への参加	146

	⑧各種研修会への参加	31
	⑨各種研修会の企画	32
	⑩各種研修会の講師	30
	⑪新規相談支援事業所の立ち上げ支援	1
	⑫新規相談支援事業所のフォローアップ	4
	⑬医療との連携	89
	⑭司法との連携	43
	⑮教育分野との連携	17
	⑯子ども分野との連携	16
	⑰就労分野との連携	17
	⑱行政との連携	392
	⑲住宅関係機関との連携	4
	⑳介護分野との連携	65
	㉑相談支援事業所との連携	344
	㉒障害福祉サービス事業所との連携	183
	㉓当事者の会との連携	2
	㉔家族会との連携	0
	㉕協議会との連携	7
	㉖その他	236
専 門 相 談	㉗相談支援業務における指導・助言	319
	㉘現地訪問への同行及びアドバイス	193
	㉙ケース会議等への出席	157
	㉚情報収集・提供	1,028
	㉛直接相談業務	1,075
	㉜その他	247
権 利 擁 護	㉝虐待防止センター業務	90
	㉞成年後見制度利用支援	2
	㉟その他	16
地 域 移 行	㊱地域移行支援推進のための働きかけ	1
	㊲地域の受け皿の整備のための働きかけ	2
	㊳地域資源の情報収集・発信	0
自立支援協議会	㊴各種会議・専門部会等への参加	152
	㊵事務局業務等	445
	㊶その他	47
合 計		5,729

② 定例会議への参画

○ 市 内

障がい者基幹相談支援センター連絡会（七福人会議）

委託相談支援事業所連絡会

郡山市・基幹センター合同会議
 郡山市自立支援協議会全体会（書面開催）
 郡山市自立支援協議会運営会議
 郡山市自立支援協議会事務局会議
 郡山市自立支援協議会こども支援部会
 郡山市自立支援協議会自立生活支援部会
 郡山市自立支援協議会就労支援部会
 郡山市セーフコミュニティ推進協議会自殺予防対策委員会
 郡山市新型コロナウイルスワクチン接種専門委員会

○ 県 中

県中地域障害者就業・生活支援センター運営連絡調整会
 県中圏域心の地域包括ケアシステム構築にかかるワーキンググループ

○ 双葉地方

双葉地方地域自立支援協議会連絡会
 双葉郡障害者虐待対応・防止ネットワーク会議

○ 県

福島県自立支援協議会人材育成部会
 福島県精神障がい者地域移行・地域定着促進検討会
 基幹相談支援センター連携会議

③ 養成・研修事業（企画・主催）

研修名	日程	場所
事例検討会 (9月、10月はインシデントプロセス法を用いた研修)	1回/月	市総合福祉センター
計画相談事業所連絡会	8月20日、2月4日	市総合福祉センター (2月はオンライン)
一年目相談員研修会	6月25日、8月27日、 10月29日、12月23日	市総合福祉センター (8月はオンライン)
二年目相談員研修会	5月26日、7月27日、 11月26日	市総合福祉センター
相談支援従事者フォローアップ研修会	11月22日	市総合福祉センター

④ 養成・研修等事業（研修等への職員の派遣）

研修名	日程	場所	人数
令和3年度福島県障がい者相談支援 (障がい者ケアマネジメント)従事者 専門コース別研修（精神）	6月18日	県男女共生センター	1人
令和3年度福島県障がい者相談支援	6月23日	安積総合学習	1人

(障がい者ケアマネジメント) 従事者 専門コース別研修 (スーパービジョ ン)		センター	
令和3年度福島県障がい者相談支援 (障がい者ケアマネジメント) 従事者 現任者研修	7月1日～2日 7月28日、8月25 日	市総合福祉セ ンター	1人
令和3年度福島県障がい者相談支援 (障がい者ケアマネジメント) 従事者 養成研修共通講義	7月13日～14日	市総合福祉セ ンター	1人
令和3年度福島県障がい者相談支援 (障がい者ケアマネジメント) 従事者 養成研修ファシリテーター研修	8月4日	市総合福祉セ ンター	2人
令和3年度福島県障がい者相談支援 (障がい者ケアマネジメント) 従事者 養成研修演習	9月1日～2日 10月6日～7日 11月18日	市総合福祉セ ンター	1人
	9月8日～9日 10月13日～14日 11月25日	市総合福祉セ ンター	2人
令和3年度福島県障がい者相談支援 (障がい者ケアマネジメント) 従事者 主任相談支援専門員養成研修	12月1日～3日 12月9日～10日	市総合福祉セ ンター	1人
		延べ人数	10人

⑤ 外部研修等への職員の派遣（講師）

研修名	日程	会場	人数
令和3年度精神保健福祉関係職員基礎研 修	6月9日	県精神保健福 祉センター	1人
令和3年度相談支援従事者フォローアッ プ研修	10月27日	三春町役場	1人
令和3年度相談支援専門員スキルアップ 研修会	11月4日、 11月12日	会津若松市障 がい者支援セ ンターカムカ ム	1人
特別支援学校初任者研修	2月2日	県特別支援教 育センター	1人
グループスーパービジョン研修	3月9日	大玉東部ふれ あいセンター	1人
		延べ人数	5人

⑥ 研修への参加

研修名	日程	会場	人数
障がい者支援施設等における新型コロナウイルス感染症対策研修	5月25日	オンライン	1人
令和3年度福島県障がい者相談支援（障がい者ケアマネジメント）従事者専門コース別研修（スーパービジョン）	6月23日	安積総合学習センター	1人
障がい者虐待に関する研修会	11月16日	オンライン	3人
令和3年度福島県障がい者相談支援（障がい者ケアマネジメント）従事者主任相談支援専門員養成研修	12月1日～3日 12月9日～10日	市総合福祉センター	1人
令和3年度県中圏域相談支援従事者研修会	12月17日	須賀川市役所	3人
令和3年度福島県障害支援区分認定調査員研修会	1月7日	オンライン	1人
令和3年度「若年層の自殺予防に関する講演会」	3月22日～29日	オンデマンド配信	1人
		延べ人数	11人

⑦ 外部への職員の委嘱

- ・郡山市セーフコミュニティ推進協議会自殺予防対策委員
- ・郡山市地方社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会委員

（５）郡山市障害者虐待防止センター事業

① 虐待受付業務

- ・新規17人、継続5人
- ・虐待認定4人（継続含む）、虐待疑い18人

①相談・通報・届出件数

（単位：件）

相談・通報者	件数
本人	5
家族・親族	0
相談支援専門員・障害福祉施設従事者	10
病院	4
司法関係	0
行政関係	14
関係機関	2
合計	35

②虐待の種類（重複あり）（単位：人）

身体的虐待	9
性的虐待	2
心理的虐待	10
放棄・放置（ネグレクト）	2
経済的虐待	6
合計	29

※実人数 22 人

③支援方法（単位：件）

会議	20
聞き取り・面談・訪問	21
同行支援	4

② 障がい者虐待防止研修会

会場集合型での開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、各法人 1 名に限定しオンラインに変更実施。

日 時：令和 4 年 2 月 25 日（金） 午後 1 時 30 分～4 時 00 分

内 容：障がい者虐待防止についての講義およびグループワークによる演習
（受講者が各自法人（事業所）で同じような研修を実施できる内容）

講 師：ふくしま基幹相談支援センター 畠 一眞 氏
基幹相談支援センターふたば 四條 拓哉 氏

参加者：参加人数 32 人

《10 保育事業の推進》

① 児童利用状況

① 赤木保育所【定員 80 人】（単位：人）

年度 年齢	令和 3 年度	令和 2 年度	対前年度比
0歳児	123	129	-6
3歳未満児	378	373	+5
3歳児	192	204	-12
4歳以上児	285	270	+15
合 計	978	976	+2

(令和3年度の月別人数)

年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	7	8	10	10	10	11
3歳未満児	30	32	32	32	31	32
3歳児	16	16	16	16	16	16
4歳以上児	26	25	25	24	24	23
合 計	79	81	83	82	81	82

年齢	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	11	11	12	11	11	11	123
3歳未満児	32	32	32	31	31	31	378
3歳児	16	16	16	16	16	16	192
4歳以上児	23	23	23	23	23	23	285
合 計	82	82	83	81	81	81	978

② 希望ヶ丘保育所【定員 140 人】

(単位：人)

年齢 \ 年度	令和3年度	平成2年度	対前年度比
0歳児	162	151	+11
3歳未満児	505	491	+14
3歳児	313	339	-26
4歳以上児	682	674	+8
合 計	1,662	1,655	+7

(令和3年度の月別人数)

年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	12	12	12	14	14	14
3歳未満児	40	40	42	42	42	43
3歳児	27	27	27	27	27	26
4歳以上児	56	56	57	57	57	57
合 計	135	135	138	140	140	140

年齢	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	14	14	14	14	14	14	162
3歳未満児	43	43	43	43	42	42	505
3歳児	26	26	26	25	25	24	313
4歳以上児	57	57	57	57	57	57	682
合 計	140	140	140	139	138	137	1,662

② 外部研修等への職員の派遣状況一覧

研修名	期日	開催地	人数	
			赤木	希望ヶ丘
令和3年第1回幼保小合同研修会	5月27日	オンライン	1人	
令和3年度第1回幼保小相互参観（東万部協議会）	5月28日	郡山市	1人	
令和3年度第2回幼保小合同研修会	6月15日	オンライン	1人	
KTYセミナー	6月18日	オンライン	1人	
令和3年度第3回幼保小合同研修会	7月28日	オンライン	1人	
就学前施設の事故防止 リスクマネジメント研修会	8月24日	オンライン	2人	
令和3年度第4回幼保小合同研修会	9月24日	オンライン	1人	
リスクマネジメント研修会 事故防止活動の進め方のコツ	10月20日	オンライン	1人	
令和3年度第5回幼保小合同研修会	11月22日	オンライン	1人	
食物アレルギーの食事と管理研修会	12月7日	オンライン	1人	
小児アレルギー疾患の保健指導研修会	12月9日	オンライン	1人	
タイムライン作成研修会	12月16日	オンライン	1人	
小児アレルギーの最新知識と適切な対応の研修会	1月28日	オンライン	1人	
小児アレルギー研修会	2月4日	オンライン	1人	
令和3年度福祉サービス第三者評価研修会	2月24日	オンライン	2人	2人
食物アレルギー対応研修会	3月18日	オンライン	1人	
延べ人数			18人	2人

③ 実習生の受け入れ

保育所名	学校・団体数	受入人数	受入延べ期間
① 赤木保育所	3か所	3人	43日
② 希望ヶ丘保育所	3か所	6人	44日

《11 関連事業》

（1）共同募金運動・歳末たすけあい運動への協力

- ① 郡山市共同募金委員会第1回運営委員会
[新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面審議]
期 日：令和3年6月15日（火）付審議
- ② 郡山市共同募金委員会第2回運営委員会

[新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面審議]

期 日：令和3年11月25日（木）付審議

（２）日本赤十字社事業への協力

- ① 日本赤十字社社員増強運動月間

期 間：令和3年5月1日～31日

（３）福島県福祉人材センター協力指定事業の受託

- ① 福祉の仕事相談会

期 日：毎月1回

会 場：市総合福祉センター

相談件数：25件（前年度同期比-1件）

- ② 福祉人材センター協力指定事業担当者会議

期 日：令和3年5月13日（木）

会 場：オンライン会議